

高齢者のインフルエンザは重症化することがあります。

インフルエンザとは

インフルエンザは 「インフルエンザウイルス」 に感染して起きます。38℃以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛などの症状が急に現れ、高齢の方や種々の慢性疾患を持つ方は肺炎を伴うなど重症化することがあります。※条件によっては熱が出ないケースもあります。

【インフルエンザを予防する有効な方法】

①流行前のワクチン接種

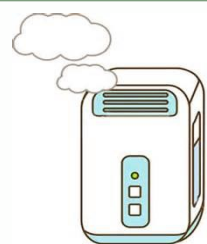
ワクチン接種を受けた高齢者は、発症を抑える効果が認められ、死亡・入院のリスクが減少するとされています。

②手洗いやアルコール消毒による手指消毒

手洗いで付着したウイルスを流水で洗い落とすことや、アルコールによる手指の消毒もインフルエンザウイルスに対して有効です。

③感染を広げないために咳エチケットの心がけ

インフルエンザは、主に、感染している人が咳やくしゃみをしてウイルスが飛び散る事によって感染します（飛沫感染）。普段から咳エチケット（①他の人に向けてくしゃみをしない、②咳やくしゃみをするときはマスクをする、③手のひらで咳やくしゃみを受け止めたなら手を洗うことなど）を心がけてください。



部屋の適度な加湿

愛知三愛福祉会からのお願い

インフルエンザ・感染性胃腸炎（ノロウイルス）流行時の対応について

これまで、施設内において感染の予防や対策には十分注意してきております。しかし、冬季期間には、インフルエンザ・感染性胃腸炎（ノロウイルス等）の発生が予測されます。その疑いがある場合や、実際に発生した場合は、感染防止対策の手段として「施設内に持ち込まない、持ち出さない」という観点から、ご家族様や関係者様の面会を制限させていただくことがあります。感染拡大の恐れがある場合はご連絡をさせていただきますので、今後ともご協力をお願いいたします。

また、ご連絡が間に合わず面会に来られた際は、ご面会出来ない場合がございますのでご了承ください。冬季期間に関しましては来られる際に一度確認のためお電話をいただけると幸いです。お手数をおかけいたしますが、ご協力をよろしくお願いいたします。

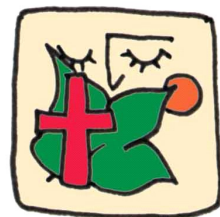
感染対策委員会

特別養護老人ホームのぞみからのお願い

ご家庭等で使わなくなった『ソファ（一人掛け）』がございましたら、ご連絡ください。特別養護老人ホームのぞみで活用したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

生活相談員：寺島 ケアマネジャー：森下ユリカ

編集後記：年度末に入り、沢山の方達から薪が届きました。並んでいる木々たちを見かけるたびに、持って来ていただいた方々や木を切って下さる方の事を想い、気持ちもフワあ〜と温かくなり、なんだか心が綻びる今日この頃です。春はもうすぐです。良い春をお迎え下さい。 S・M



三愛だより

第51号 2017年 3月

社会福祉法人愛知三愛福祉会
日進市米野木町南山987-104
発行者：理事長 池田 曠



南山教会
内山友也 副牧師（当施設での最後の定期礼拝より）

『主われを愛し、いつくしみ深い礼拝』 マタイによる福音書18章20節
「2人また3人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである」

南山教会に赴任をして早くも3年の月日が経とうとしています。手帳を見返してみますと2014年の春に「のぞみ」の礼拝に初めて参加させて頂いた記録が残っていました。「のぞみ」の礼拝には村山牧師と隔月で交代しながら出席させていただき、入居されている方々と共に聖書の御言葉を聞いてまいりました。礼拝に出席させていただくと、いつも感じるがあります。それを一言で表すならば「温かい」という表現が一番しっくりくるように思います。何が「温かい」のか。それは、人の心です。愛知三愛福祉会に関わる全ての施設で言えることではありますが、スタッフの方も入居されている方も皆さん心が「温かい」のです。何気ない会話の中にふっと浮かびあがる笑顔の表情、相手を労わる感謝の言葉、その中にイエスが教えられ、願われた「愛」のかたちが示されているように感じます。特に、「のぞみ」の礼拝はその愛に満ちた空間であることを毎回私は感じてきました。前奏から礼拝が始まり、讃美歌を歌います。讃美歌はいつも決まっていて、「主われを愛す」と「いつくしみ深き」です。「主〜わ〜れ〜をあいす〜♪」「い〜つくしみふか〜き〜♪」と、礼拝室に大きな声が響き渡ります。時には手拍子も入ったりします。中には目を閉じて讃美歌を聞いておられる方もいます。そして、共に聖書の御言葉に触れ、最後には礼拝に出席した皆さんと神様に感謝を込めて拍手をして終わります。讃美歌を歌う人、聞いている人、祈りや聖書の言葉に「アーメン」と、言う人。様々な信仰の姿があることをいつも教えられます。また、その礼拝の場に集められることに、それぞれが感謝と喜びをもっておられることが伝わってきます。神様に向けて感謝と喜びを分かち合う一人ひとりを、神様は祝福で満たして下さることを教えられます。



チャペルでの礼拝



内山副牧師最後の定期礼拝



村山牧師との特別讃美



礼拝の奉仕者たちと共に

イエスは、「2人また3人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」（マタイ18章20節）と言われました。わたしたちが仕方なく集まった場所ではなく、イエスが招いて下さった集まりの中にイエスは共にいてくださると言うのです。「のぞみ」の礼拝はまさにイエスの招きによって開かれた礼拝だと言えます。だからこそ、礼拝の中で「温かい」心に満たされることを感じる事が出来るのだと思います。そして、「主われを愛す」「いつくしみ深き」と、私たちがその思いを喜んで神の前に献げるとき、「私もその中にいるのだよ」と言われた、絶えず慈しみをもって寄り添っていて下さる見えないイエスの存在に私たちは出会います。そのイエスは十字架に至るまで、自分の命を私たちのために献げられました。私たちがその深い愛に学び、いつの世にあっても変わる事のない愛の実践をなしていく者でありたいと願います。言葉だけを語っていてもそれは意味をなしません。隣人の体に触れ、心に触れ、自分も同じようにそれを受ける。その相互の関係の中にキリストは今も生きて、私たちの働きを支えてくださっていることを覚えたいと思います。愛知三愛福祉会にはイエスの招きを受けた方々によって、そのことが実践されていることに深い感銘を受けます。いかなる時代状況にあっても、変わらないキリストの愛が、この愛知三愛福祉会の一つひとつの働き、そして、地域に根差し続けることを心から願うばかりです。私自身もその交わりの中に加えていただき、主に在る多くの学びと喜びが与えられてきました。

4月からは京都の教会に赴任いたしますが、この書面をお借りして、これまでの御交わりに心から感謝を申し上げます。「主〜わ〜れ〜をあいす〜♪」「い〜つくしみふか〜き〜♪」また共に讃美できることを願いつつ、愛知三愛福祉会の御働きに携わっておられる皆様の上に、これからも主の豊かな祝福と導きがありますようお祈りいたします。

オープンガーデン感謝状

2017年1月5日(木) 日進市民会館で「市政功労表彰式」が行われ、特別養護老人ホームのぞみが感謝状を受けました。『長きにわたりにっしんオープンガーデンに参加され緑化の推進に尽くされましたのでここに感謝の意を表します。』愛知三愛福祉会を代表して大畑美和子施設長が出席され感謝状を受け取りました。法人理念として地域に開かれ、地域に信頼される、地域に根づいて行く施設を目指す一環としての責任が感じられます。日進市からの様々なご協力もあり、特に「園芸ボランティア」の活動によって、今年で6年目になるのぞみの「オープンガーデン」はより地域に広く知らされ、定着するようになりました。



毎月、お庭のお手入れのために来られる「園芸ボランティア」の皆さんにはいつも感謝の気持ちでいっぱいです！雨天の日でも休まず、真夏の暑さの中での水撒きはもちろん、背伸びした木や雑草等の処理、秋は落ち葉の片付け等、1年中お庭のお世話をされます。このような「園芸ボランティア」の皆さんの活動によって私たちのお庭にはいつも四季の雰囲気が演出されています。「チューリップオープンガーデン」のための準備は寒い冬から始まります。冷たい土の中にたくさんの球根を植え、4～5ヶ月間の世話をしながら、今年はどんなチューリップが咲くのだろう、と期待を膨らませて春を待ちます。

長きにわたり活動されている「園芸ボランティア」の皆さんに、私たちの感謝の気持ちを一人ひとりに送らせて頂きます。神様の祝福が皆様の上にありますように。

ボランティア・コーディネーター

日進市主催で毎年行われるオープンガーデンに今年も参加いたします。今年はお庭でのミニコンサートも予定されていますので、地域の皆様どなたでもお気軽にお越しください。

2017年愛知三愛福祉会チューリップ・オープン・ガーデン

- ＊日時：2017年4月7日（金）～9日（日）10時～15時
- ＊場所：愛知三愛福祉会のぞみ中庭
- ＊3階カフェ：コーヒー、紅茶・手作りケーキ・クッキー等
- ＊ミニバザー：3階カフェ（※バザー品を募集しています）

♪ミニコンサート：4月8日（土）13時～15時 お琴とライアの生演奏（※雨天中止）



イースター(復活祭)

『復活の希望』

枯れ木のように見える桜の木も、つぼみが固いながらも、もう膨らみかけています。長い冬の後、自然界に復活が訪れ、生命が死を飲み込んでしまいます。ロシアの文豪トルストイは、「春が来て、夏が来て、秋が来て、冬が来る。しかし、これよりもっと確実なことは、人間には死が来ることである」と言いましたが、死は人生の冬にたとえることができます。冬の後には春が巡り来るように、人生の冬の後にも、春が来るのでしょうか。聖書は、死後の春を約束しています！

ヨハネの福音書11：25 イエスは言われた。

「わたしは、よみがえりです。命です。わたしを信じる者は死んでも生きるのです。」



イースターおめでとうございます。今年も愛知三愛福祉会の皆様と共にこれからのイースターを迎えられる恵みを感謝します。どうか、皆様の教会の上に、ご家庭の上に、お一人ひとりの上にイエス・キリストのよみがえりによる永遠の命を得る祝福が豊かに注がれますようにお祈り申し上げます。

＊ 愛知三愛福祉会イースター記念礼拝：2017年4月24日(月) 14:00 のぞみ1階ホール

住人さんの楽しい・快適を目指して



特別養護老人ホームのぞみ
介護福祉士 福井 裕子

今年4月で介護に携わって15年目、『三愛』へ入社して10年目を迎えます。

今まで『高齢者福祉』だけでなく、『障害者福祉』にも携わってきました。学生時代の教育実習の一つに福祉施設の実習があり、それをきっかけに介護に携わるようになりました。学生時代はボランティアとして“楽しく”携わっていましたが、働かせて頂くようになり見た目以上に“大変”だと実感しました。介護は“人”が相手の仕事なので、正解がありません。自分との葛藤、スタッフ同士の意見のぶつかり合い…様々な壁にぶち当たり、（自分に介護は不向きなのでは…）と悩んだ事もあります。実際に他の職種の仕事を考えた事もありましたが、気付いたら【介護職員】の案内を見ていました。何故【介護】に戻ってくるのかと考えた時、“個々の住人さんに対し、良いケアは何か”“住人さんが喜んでくれる企画は何か”を考え提供した時に“楽しい・快適だ”と感じて頂けた時に、私が介護を続けている理由の一つだと分かりました。

これからも、沢山の壁にぶつかりながら成長し、「毎日が楽しい・快適だ」と思っただけのような“ケアや企画”を提供していける【オールマイティーな介護士】を目指していきたいと思っています。

母の働く姿を通して介護へ



特別養護老人ホームのぞみ
介護福祉士 上田 建

介護の職について10年が経ち、もうすぐ愛知三愛福祉会に入職して2年目になります。

私が介護という仕事に携わるようになったのは、元々は母が介護の仕事をしており、母が仕事を通してご利用者の方との関わりの中での楽しかった事、難しいと感じた事を聞いていくうちに興味を持ったことがきっかけでした。介護の専門学校を卒業し、社会人になり右も左もわからない状態で毎日必死に仕事をこなしていくうちにあっという間に10年という月日が経過していました。

介護という仕事はご利用者「人」との関わりあいがとても大切です。その日々の関わりあいの中でご利用者、ご家族の思いを自分なりに理解し、思いに沿ったケアをするにはどうすればいいか。安全・安心に過ごしていただくにはどうすればいいかなどを、ケアマネージャー・看護師・栄養士等の様々な方と連携をとりながら、日々仕事に取り組んでいます。

ご利用者の思いは一人ひとり違うため、何気ない会話、表情、しぐさを見逃さずその方にあったより良いケアに繋げていけるよう、これからも心掛けていきたいと思っています。

愛知三愛福祉会 職員募集のご案内

愛知三愛福祉会では現在、**職員の募集**しています。
自然豊かな環境・家庭的な雰囲気の中で、一緒に働いてみませんか？

特別養護老人ホームのぞみ

介護職員 常勤・非常勤
看護職員 常勤・非常勤

デイサービスセンターさんあい

介護職員 非常勤

グループホームあいわ

介護職員 常勤・非常勤

詳しくは愛知三愛福祉会ホームページの求人情報にアクセスをしていただくか、お電話下さい。

ホームページ：<http://www.sanaifukushikai.jp/>
電話：0561-75-4321 担当：三吉